

お客さま本位の業務運営方針に対する評価指標

FPブレンでは、2018年6月に金融庁より公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」に係る自社KPIとして、投資信託をお持ちのお客さまの「運用損益別顧客比率」と、弊社にて口座を開設されている方の「口座開設期間別損益状況分布」を公表いたします。(いずれも2020年3月末基準)

新型コロナウイルスの影響により、2020年3月は市場価格が大きく下落し、弊社の運用損益別顧客比率も、32%という数値となりました。

この比率には、その時期の相場が影響し、特に、運用を始めてからの期間が短い方ほどその影響は大きくなります。

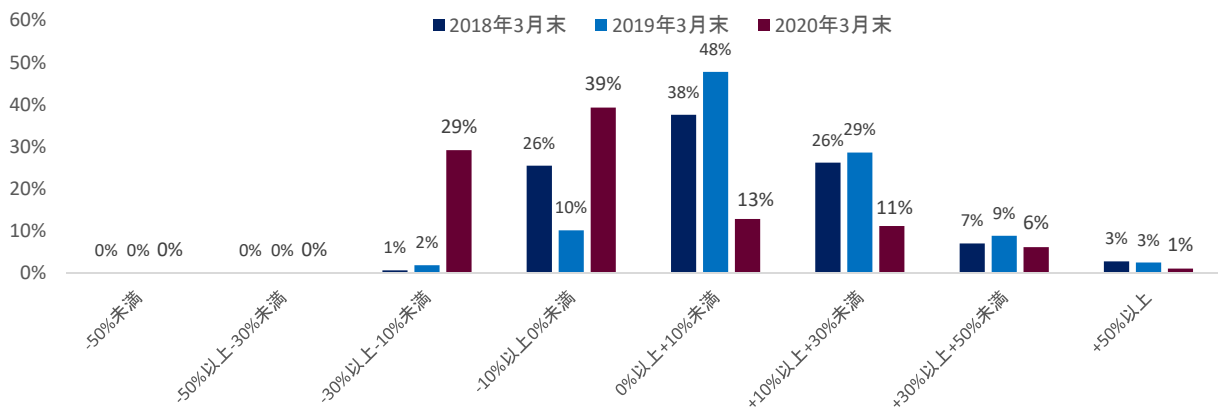
実際、「口座開設期間別損益状況」をご覧くださいますと、運用を始めて6年未満の方は多くが運用益がマイナスの状況でしたが、運用の期間が7年以上になると、この局面においても多くの方の運用益がプラスになっていることが示されています。

FPブレンが18年前からお客さまにお伝えしてきた、「長期分散投資」の実践により、この数値が実現できていると考えております。

相場に左右されず、長期分散投資を継続するためのサポートをし続けることが、FPブレンが最も大切にするお客さまの利益と、安定した生活や将来の安心につながるという信念のもと、今後もスタッフ一同努力を続け、評価指標を公表してまいります。

運用損益別顧客比率(投資信託)

各年3月末時点で、投資信託をお持ちの個人のお客さまの損益分布状況を示しています。



運用益がプラスのお客さまの割合	
2018年3月末	74%
2019年3月末	88%
2020年3月末	32%

口座開設期間別損益状況

2020年3月末時点で、口座をお持ちの個人のお客さまの口座開設期間別の損益状況を示しています。(証券口座における時価評価額から、口座への入金金額を差し引いた数値により損益を算出)

